

DOSHISHA UNIVERSITY



Faculty of Psychology

同志社大学 心理学部父母会会報

第1号 2009.11

EVENT

■心理学部開設記念シンポジウム ～安らかな食を楽しむために： 安全への取り組みと心理学～

食をめぐる現在の状況、そして安らかに食を楽しむためのヒントとは？「事業の現場」「科学」「報道」そして「心理学」の側面からアプローチします。

日時:2009年11月15日(日)13:30～15:30

会場:同志社大学今出川キャンパス 明德館 21 番教室
シンポジスト:小嶋淳司氏(がんこフードサービス(株)会長)

関澤純氏((独)食品総合研究所)

松永和紀氏(科学ライター/ジャーナリスト)

中谷内一也(心理学部教授)

司会進行:青山謙二郎(心理学部教授)

■大学サイエンスフェスタ ～22世紀を創る同志社サイエンス～

心理学部からは心理学部准教授 畑 敏道先生による
「さかさまの世界で遊ぼう」:逆転メガネや鏡映描写
装置を使用する心理学実験が体験できます!!
(他学部も出展中)

日時:2009年12月12日(土)13日(日) 9:00～17:00

会場:国立科学博物館[東京・上野公園]

2009年度 父母会役員名簿



(左から) 村田副会長、永野会長、森川監事

【役員】

会長 永野 三和子
副会長 村田 幸子
監事 森川 久美子

【参与】

内山 伊知郎 教授 (学部長)
青山 謙二郎 教授 (教務主任)
杉若 弘子 教授 (学生主任)
朝田 邦裕 事務長

父母会会長のごあいさつ 永野 三和子



2009年7月、皆様方のご理解ご協力により「第1回心理学部父母会総会」を無事開催し、「心理学部父母会」を発足させることができました。発足にあたり、ご尽力いただきました教職員の方々、ご父母の方々には感謝申し上げます。総会終了後、実験室を見学させていただき、懇親会では、出席者の方々がご意見や近況報告など交換しながら、有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

子ども達はいろいろな人と関わりを持ち、大学生活の中で大きく成長していきます。それに伴い、子ども達を取り巻く環境は、日々変化していきます。良い環境の中、勉学に励み、出会いに感謝し、人とのつながりを大切にしながら、意義のある心豊かな生活を送れるよう、大学と父母の連携を図り、互いに協力し、支援できればと思います。会員の皆様には、今後とも父母会活動にお力添え下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

心理学部長のごあいさつ 内山 伊知郎



心理学部父母会の発足おめでとうございます。ご父母の皆様、父母会を通して心理学部の活動の様子を理解いただき、お子様の大学生活を身近に感じていただければうれしく存じます。すでに入学から8ヶ月が過ぎようとしています。大学は夏と春に長期休暇もあり、生活を自主的に構築していく自由度が高くなっています。教職員一同、お子様のバックアップをして、充実した生活を送れるように応援しておりますが、ご父母の皆様との連携も強く持ち、家庭と大学生活の支援のネットワークを築いていきたいと考えております。

また、ご父母の皆様が日ごろ感じられる思いは共通のところも多いので、父母会の名称のごとく、ともに語り合える機会をもっていいただければ願っております。今後、父母会の活動が活発になり、充実した支援のネットワークが築けますことを祈念しております。

Campus Information

キャンパスでは季節ごとに各種イベントが開催されています。一般の方も参加できますので京都にお越しの際は奮ってご参加ください。

■Neesima Room 第36回企画展

「新島八重の生涯—進取と矜持」

期間:2009年10/1(木)~2010年1/31(日)
閉館:祝日、11/5・29、12/14・23~2010年1/6
時間:10:00~17:00(土・日曜日は16:00まで)
会場:Neesima Room
今出川キャンパス ハリス理化学館2階

■同志社のクリスマス

もみの木のイルミネーション点灯

点灯式:今出川11/20(金)17:15~
京田辺11/30(月)16:45~
点灯期間:今出川11/20(金)~12/25(金)16:30~22:30
京田辺11/30(月)~12/25(金)16:30~22:00

第20回 同志社京田辺クリスマス燭火讃美礼拝

日時:12/12(土) 16:30~18:00(終了予定)
会場:同志社新島記念講堂(同志社女子大学構内)

第45回 全同志社メサイア演奏会

日時:12/24(木)開場 17:00 開演 18:00
会場:京都コンサートホール大ホール
料金:S席 2,000円 A席 1,000円
主催:全同志社メサイア演奏会実行委員会
(問い合わせ TEL/080-3864-2412)

■2009年度学年暦(秋学期)

- 11月 1日 同志社京田辺祭(休講)
23日 勤労感謝の日(授業日)
25~28日 創立記念行事週間(休講)
29日 創立記念日(休日)
12月 23日 天皇誕生日(授業日)
24日 冬期休暇開始
25日 キリスト降誕日(休日)
2010年
1月 6日 冬期休暇終了
7日 講義再開
23日 講義最終日・創立者永眠の日
25~26日 補講期間
27日 期末試験開始
2月 17日 期末試験終了
3月上旬 卒業可否発表
20~22日 秋学期卒業式・学位授与式
24日 在学生成績通知書配付
31日 秋学期終り

心理学部 NEWS

「赤ちゃんにやさしい都市づくり」フォーラム



府立けいはんなホールにて

昨年秋、赤ちゃんの発達や行動を解明する研究拠点「同志社大学赤ちゃん学研究センター」が心理学部の寄付教育研究プロジェクトとしてけいはんな学研都市キャンパスに開設されました。今年9月13日には、それを記念して「赤ちゃんにやさしい都市づくり」フォーラムが開かれました。(主催:京都府、同志社大学赤ちゃん学研究センター 他)当日は同センター小西行郎教授の基調講演や卒業生奥野史子さんたちによるパネルディスカッションや子育てフリーマーケットなどがあり、子供連れのお父さんお母さんたち約1500人が参加して賑わいました。

木津川市 市民公開講座



けいはんなプラザにて

「関西文化学術研究都市」に立地している6つの大学(奈良先端科学技術大学院大、同志社大、同志社女子大、大阪電気通信大、関西外国語大、大阪国際大)が連携し、共同企画として一般市民向けの市民公開講座を毎年開催しています。11月7日は、呉東進教授(赤ちゃん学研究センター)が「赤ちゃんは何を聞いているの?—音楽と聴覚からみた乳幼児の発達—」を講演され、市民の方々が熱心に耳を傾けておられました。



最後は決勝で雌雄を決した同志社大学院生組です。自称平均年齢29歳のその完膚無きままに我々を潰そうとする様は大人げなさを超え実に清々しいものでありましたが、最後に我々に花を持たせてくれたことには感謝したいです。以上の彼らの活躍で大会は異常なまでの盛り上がりを見せたのであります。(1年次生 余根田 耕さん)

です。あの時、鼻で笑ってしまったことをこの場を借りて謝りたいと思います。

清々しきの秋晴れの絶好のソフトボール日和。これはお世辞にも言えない日曜日、記念すべき第1回心理学部ソフトボール大会が開催されました。その中で幾分目立ち私の記憶にその姿を鮮明に残すものがありました。
1人は同志社心理にその名を高く轟かすブルーマウンテンこと青山教授です。日本でも随一の歴史を誇る某名門球団の球服に身を纏い我々を率いる様は圧巻でありました。
次はスーツに革靴で慧星の如く現れ、その秘めたるパワーで本塁打を放って行った鈴木教授です。あの時、鼻で笑ってしまったことをこの場を借りて謝りたいと思います。

1年生レポート



ソフトボール大会 in 京田辺

10/25 (日)

青山先生率いるチームが優勝!!

地方懇談会報告(同志社キャンパスフェスタ)

今秋、全国6会場にて同志社キャンパスフェスタ(校友・父母課 主催)が開催され、心理学部は地方懇談会を同時開催いたしました。当日は多数のご父母にご参加いただき、全体懇談会の後、先生方と個人面談が行われました。日ごろ気になるお子様の様子や成績、学校生活について、教員と熱心にお話しされるご父母の姿が見受けられました。また、受験生が入試相談にも訪れていました。

- 【開催場所】 10月 3日 仙 台(仙台ホテル)
 10月11日 東 京(六本木アカデミーヒルズ49)
 10月18日 名古屋(名古屋国際ホテル)
 10月24日 岡 山(山陽新聞社本社ビル・さん太ホール)
 11月 8日 京 都(同志社大学 今出川校地 寒梅館)
 11月15日 熊 本(熊本全日空ホテルニュースカイ)



= 地方懇談会のようす =



= 入試相談のようす =

= キャンパスフェスタのようす =

心理学体験コーナー



京田辺キャンパスで10月31日～11月1日同志社京田辺祭2009(ADAM祭)が開催されました。心理学部は『心理学体験コーナー』を実施しました。両日共に1時間半という限られた開催時間でしたが、お子様からお年寄りまで多くのお客様に会場にいらただきました。逆転メガネや鏡映描写のような装置を使用する実験やエゴグラムによる性格の測定など計6個のブースを設置し、約20名の学生に、受付や各ブースにてお手伝いをしてもらいました。「どこがどう心理学なの?」という質問が多数ありましたが、学生がとても立派な解説をしていました。

また、11月25～28日今出川キャンパスにて同志社EVEも行われます。ご父母の皆様も、ぜひご参加ください。

学 園 祭 通 信

10/31(土)～11/1(日)
同志社京田辺祭2009(ADAM祭)

開 催



実習助手(京田辺)
岡村 悠子

心理学部の授業のようす

心理学部TOPICS

「実験実習棟の夏の改修工事を
終えて・・・」

動物飼育室が設置されました



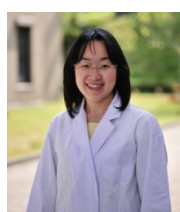
さらに新しい仲間「デグー」が
やってきます！



担当教員より一言

アンデスに生息する
Octodon degu (デグー)は、様々
な音声を使ってコミュニケーションをする社会性の高い齧
歯類です。このデグーを対象
に、どのように円滑なコミュニ
ケーションが成立するのか、社
会的スキルとそれを担う脳基
盤について神経科学的な研究
を行っていきます。

心理学部では、動物の能力を
最大限引き出すため、動物にと
っても人にとっても快適な実
験室と飼育環境を準備しまし
た。理化学研究所からやってき



上北 朋子 助教

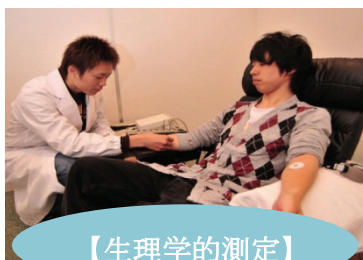
たデグーが
その認知能
力を存分に
発揮してく
れることを
期待してい
ます。

心理学実験演習



【対人行動】

パーソナルスペースは各々違って
います。それぞれ快・不快の距離を実
際に測定しています。



【生理学的測定】

実際に精密機器を使って、生理学的
指標の取り方を学びます。



【錯視】

ミュラーリヤー図形を作成して
量を検討します。



【知覚運動学習】

鏡映描写器を使って、学習の効果
を検討します。



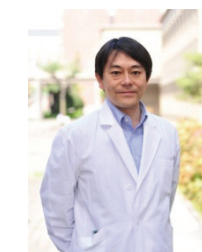
【記憶】

無意味綴りや有意意味綴
りの単語を記憶する過程、それを再生する際の系列
位置効果などを分析、検討します。



「心理学部のカリキュラムの特徴について」

同志社大学の心理学部では、伝統の少人数制教育を継承しながら、心
理学の専門知識・技術の体系的教育を軸にした教養教育を展開します。



教務主任
青山 謙二郎 教授

カリキュラムにおいては、体験を通じた学びを重視しています。そ
のための科目としては、1年次では「心理学実験演習」があり、心理
学実験の基本的な技能を身につける訓練を実施しています。今後、2年
次では「プロジェクト科目」により、問題を発見し解決する総合的人間
力を育成します。また、「臨床心理学実習」では臨床心理学の基礎的な
技能を身につけます。3年次ではアドバンストクラスの実験演習が専門
分野ごとに設けられており、実践的かつ専門的な技術へとレベルアップします。また、デー
タ解析の実習も設置されています。4年次では、それまでの学びの集大成として卒業研究を行
います。

このような4年間の学びを通して、次代を見据え、世界的潮流に応えた、良心を手腕に運用
する人材の輩出を目指しています。

DOSHISHA UNIVERSITY**Faculty of Psychology**

学生だより 「心理学の勉強を始めて…」

私は長年、国内製薬企業の研究部門に勤務し、新薬の開発や人材育成業務を担当する社会人でした。日々の業務を通じて、「心とはいったい何なの？」と考え込む場面に何度か遭遇し、「心」の研究を体系化している心理学という学問への興味が非常に強くなりました。そこで、大学で一から勉強したいと思うようになり、一念発起して受験に挑戦しました。いま念願がかない、早朝講義に眠い眼をこすりながらも、充実しています。

学ぶにつれて、これまで何ら気を止めなかった日常生活での様々な事柄が、実はひとつひとつ心理学に関連していることが多いという発見に驚いています。と同時に、改めて心理学は社会のどの場面においても通用する学問ではないかと感じています。

若い学生さんとは違って、記憶力や体力は劣るかも知れませんが、意欲や気力では負けません。社会人としての経験や仕事で得た知識に磨きをかけ、大学生活を有意義に過ごしたいと思っています。



1年次生
吉田 久子さん



1年次生
桐山 佳奈さん

進学先も決まって落ち着いた頃、美容院へ行った時のことでした。大学で心理学を学ぶ予定です、と話したところ、担当していた美容師にこう聞かれました。

「じゃあ、今僕が考えていること分かる？」

人間の心の中までは、誰も直接見ることができません。よって、世間で思われがちのように「心理学」＝「人の心を読めるようになる学問」ではないのです。では、心理学とは具体的に何を研究する学問なのでしょう。

今、私たちは実験や統計などの授業を通して、心理学の世界に足を踏み入れつつあります。心の仕組みや働きを、目に見える行動から関連づけて推測していきます。生きている以上は心も在り続けますから、心理学は日常生活の全てに関わり、扱う範囲も広いです。だからこそ、自分で可能性を切り開いていくことができますし、新たな発見もあるのでしょうか。

現在、心理学の勉強を始めて、半年くらい過ぎました。大学の講義を受けて気づき、驚いたことは、心理学という学問の範囲の広さでした。あれもこれもという具合に授業で使う教材に載っていました。あんなものもこんなものも心理学に入るんだなどと正直驚きました。また、心理学の勉強をしていて、面白いと感じるときは、日常生活において自分の学んだことが発見できたときです。「あ、これはあの時やったことに似ているな」などというときです。今はまだ習い始めて半年ということと内容が基礎的ということもあり、こういう機会は少ないですが、この先専門分野に別れ、習っていくうちにもっとこういう体験が増えたらいいと思います。心というのは自分以外、ましてや自分でさえもわからない部分が多くあると思います。そんな未知のことについて、勉強や研究をすることはとても面白いことだと自分は感じています。



1年次生
福持 直哉さん

教 職 員 よ り

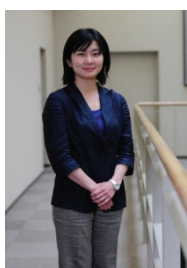
「求めなさい。そうすれば与えられる」



鈴木 直人 教授

この言葉は、新訳聖書のマタイによる福音書7章7節の言葉です。このあと、「探しなさい。そうすれば、見つかる。」と続きます。高校と大学の大きな違いはどこにあると思いますか。それは、勉強であれ、クラブ活動であれ、大学では自分から求めない限り誰も何も与えてくれないことです。高校までは、周りの人が色々とやるべきことを指し示してくれたと思いますが、大学では自分から求めない限り誰もどうすればよいかわせてくれません。自分から動かない限り、待っていても何も起こらないのです。しかし、自分から求めれば“必ず”何かを得られる場、それが大学です。何も求めなければせっかくの大学生生活がもったいないものになってしまいます。何事も自分から積極的に取り組むことで、自分の進むべき道を見つけ、自分なりのものの見方、考え方、“心理学的な目”を作ってください。

「ファーストイヤーセミナーについて」



教務(入学)主任
田中 あゆみ 講師

ファーストイヤーセミナーは、心理学部で新しく開設した1年生のための導入教育科目です。今年度は1学年を6つのクラスに分けて、専任教員(中谷内・神山・余語・興津・畑・田中)が1クラスずつ担任となりました。この科目では、心理学に限らず大学での学び全体に共通するような学習スキルとして、情報処理の基礎、図書館での文献検索、ノートテイキングの基礎や論文の書き方などを学びます。また最後に、グループに分かれてテーマを自由に設定し、客観的なデータ資料を集めて考察した成果をポスターで発表するという演習を行いました。本学ローム記念館のオープンスペースにてのポスター発表会は、心理学部の新しい行事の1つとして、今後さらに盛り上がるものになればよいと思っています。

編集後記

心理学部父母会会報誌の記念すべき第1号を編集担当することができ、大変光栄です。作成にあたり、快くご協力いただいた役員・教職員・学生の皆様にはとても感謝しています。次回はもっともっと充実したものをお届けできたらと思います。 父母会会報誌編集者一同

「心理学部の教育環境について」

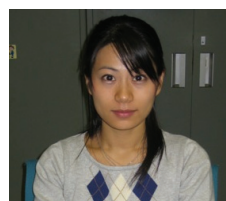


研究環境整備委員長
余語 真夫 教授

心理学ではヒトや動物の心の働きを理解するために各種の実験を行います。心理学部では、心理学科時代に整備された京田辺・今出川両校地の実験室を發展させ、国内外でトップクラスの心理学実験の教育・研究環境を実現するための拡張・改修工事を進めています。

本年度は、動物対象の神経行動学実験室、ヒト対象の精神生理学実験室(脳や自律神経系活動の測定解析)が完成し、1年生諸君は早速、心理学実験演習で利用しています。この冬より、京田辺心理学実験室では知覚・認知、社会行動、発達、臨床などの実験室の整備を進めます。1年生諸君が卒業研究に着手する頃には、あらゆる研究テーマに対応する多様性に富んだ実験室が利用可能になります。

「毎日学生さんと賑わっています!!」



実習助手(今出川)
大石 陽子

今出川校地の心理学実験準備室では秋学期に入ると、就職活動に備え、髪を黒く染め直した3年次生たちで賑わいはじめます。始まったばかりのプレゼミのために書庫に出入りする人たち、4年間の集大成である卒業論文のため実験・調査、データ分析等に奮闘する人たち……。時には、旅行のお土産を持って何気なくふらりと立ち寄る人や部活・恋愛などプライベートについて真剣に相談に来る人たちもいて、徳照館地下の実験準備室は毎日明るく賑わっております!!



発行：✻同志社大学心理学部父母会(心理学部事務室内)

Tel. 0774-65-8220 Fax. 0774-65-8223

e-mail : snr-fubo@mail.doshisha.ac.jp

ホームページ : <http://psych.doshisha.ac.jp/parents/info.html>